

富津市教育委員会定例会議 会議録

1	会議の名称	令和7年度第12回富津市教育委員会定例会議
2	開催日時	令和8年3月25日(水) 10時00分から11時20分まで
3	開催場所	市役所4階 401会議室
4	審議等事項	<p>○付議事項</p> <p>議案第1号 令和8年度富津市学校教育の指針を定めることについて</p> <p>議案第2号 富津市スポーツ・レクリエーション推進員の委嘱について</p> <p>議案第3号 富津市文化財審議会委員の委嘱について</p> <p>議案第4号 富津市文化財第12次指定について</p> <p>○報告事項</p> <p>報告第1号 富津市教育委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて</p> <p>報告第2号 富津市教育委員会事務局職員等の人事異動の報告について</p> <p>報告第3号 富津市教職員の働き方改革ガイドラインの改定について</p> <p>報告第4号 令和7年度富津市通学路安全対策協議会「通学路の安全確保」について</p> <p>報告第5号 専決事項の報告について(後援申請)</p>
5	出席者名	山下教育長、今關教育長職務代理者、池田委員、嶋野委員、藤平委員、中山教育部長、細谷参事兼学校教育課長、樋口教育総務課長、大畑学校教育課主幹、川島教育センター所長、篠田生涯学習課長、長谷川公民館長、鶴岡教育総務課庶務係長、小坂教育総務課主事
6	公開又は非公開の別	公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7	非公開の理由	(理由) 情報公開条例第23条第1項3号に該当のため
8	傍聴人数	0人 (定員 6人)
9	所管課	教育部教育総務課庶務係 電話 0439-80-1340
10	会議録(発言の内容)	別紙のとおり

発 言 者	発 言 内 容
山下教育長	<p>今年度最終の定例教育委員会会議です。インフルエンザによる学級閉鎖も見られましたが、全体的に感染症については落ち着いている状況が見られます。そのような中、各小中学校の卒業式も行われ、児童生徒が無事に巣立っていきました。卒業式の様子は、後ほど委員の皆さんにも感想を述べていただきたいと思います。</p> <p>それでは、会議を始めます。忌憚のないご意見等を頂きたいと思えます。</p> <p>本日、予定されているのは、議案4件 報告5件です。</p> <p>本日の会議録署名委員の指名ですが、嶋野委員にお願いします。</p> <p>最初に、教育長報告を申し上げます。1ページをお開きください。</p> <p>1の防火ポスター展表彰式はイオンモール富津で行われ、市内小学生の応募作品の中から優秀作品が表彰されました。教育長賞は、飯野小学校の児童が受賞しました。</p> <p>2の議場コンサートは市役所の議場で行われました。佐貫小学校全校児童と大貫小学校の5年生が、それぞれの校歌を披露した後、合同で新しい大佐和小学校の校歌を披露しました。子どもたちの素敵な歌声が議場いっぱいに広がりました。</p> <p>3の富津中学校卒業式は、164名の生徒が立派に巣立っていきました。特に全校合唱は声がよく出ているうえに、気持ちが込められていて感動しました。</p> <p>4の令和7年度富津市スポーツ協会表彰式は、中央公民館ホールで行われました。小学生、中学生、高校生、成人の方も含めて様々なスポーツの分野で優秀な成績を収められた皆様が受賞されました。</p> <p>5の褒状伝達式は、市役所で行われました。本市に対して多額の寄附を贈呈してくださる株式会社キミカ様に、紺綬褒章（こんじゅほうしょう）に伴う褒状（ほうじょう）を伝達しました。その後に、寄附金を活用させていただいた大佐和中学校の体育館を見学に行きました。</p> <p>6の青堀小学校卒業式は、児童117名が卒業生らしい大変立派な態度で式に臨み、無事に巣立っていきました。</p> <p>7の佐貫小学校閉校式は佐貫小学校体育館で行われ、児童の発表、校</p>

<p>今関委員</p>	<p>旗返納等が式の中で行われました。実行委員会の皆様による、佐貫小学校のフィナーレにふさわしい会となりました。</p> <p>ここで、委員の皆さんの出席した卒業式について、感想等お話しください。</p> <p>大佐和中と天羽小の卒業式に出席しました。</p> <p>大佐和中は 60 名の卒業生で、音楽の溢れる素晴らしい卒業式でした。卒業証書の授与の最中も卒業生の合唱の録音を流すなど、とても厳かな雰囲気、同校は入学式の時にも参列しましたが、卒業式の校歌は心に迫るものがある、歌中の「限りない想像力で僕らは歩いていく」という歌詞が卒業式にふさわしく、素敵な式でした。</p> <p>天羽小は卒業生 33 名をお送りいたしました。</p> <p>直前までインフルエンザで欠席が多数だったそうですが、当日は欠席者もなく全員が参加することができたと校長先生から伺いました。</p> <p>また、入場時に子どもたちが全員笑顔で入場していたのがとても印象的で、互いの個性を認め合うという姿が、式の中でも随所に見られてとても良い式でした。</p> <p>来賓の方で、湊地区交通安全推進隊の方がいらして、その方のお祝いの言葉で、40 年間この地域を見守っていて、「中学校は自転車で通学する子もいるから、特に交通事故には気をつけてね」という言葉を卒業生に向けて言っていたんですけども、その言葉を聞いて卒業生が全員「うん」というように頷いていたのが、地域にとっても根付いている小学校だったのだろうと感じ、心が温くなる式でした。以上です。</p>
<p>嶋野委員</p>	<p>私は飯野小学校の卒業式に参列させていただきました。</p> <p>厳粛かつ穏やかな雰囲気、素晴らしい卒業式で、卒業生、在校生ともに立派な態度で感心させられました。在校生の送辞、卒業生の答辞は、合唱を交えながら進めていくもので、声も大きく、感謝の気持ちやエールの交換がされて、特に合唱で卒業生、在校生が心を一つにして歌う歌は心が震えるような、とても素晴らしい歌声でした。</p> <p>卒業生だけではなく、在校生や保護者、先生方にも涙が見られ、感動の卒業式でとにかく良かったと思います。</p> <p>また、会場の体育館の窓ガラスがとても綺麗で、非常に気持ち良かったです。</p>

<p>藤平委員</p>	<p>教育委員会からの御祝いの言葉の内容も非常に良いものでした。以上です。</p> <p>私は閉校になる佐貫小学校最後の卒業式に出席させていただきました。</p> <p>卒業生は5名で、うち3名が大佐和中、2名が私学に進学することです。</p> <p>とても良い雰囲気、家族的な雰囲気の中で6年間を過ごしてきたのだろうと感じました。</p> <p>一人ひとりの表情がとても晴れやかで、悲しいというよりも、希望とこれからの未来に向けて、晴れやかなスタートを切るといった思いを感じる表情が見られたのが印象的でした。</p> <p>父母への感謝の言葉と、中学校での各々の抱負を述べ、それから卒業証書を受領する流れで、個が際立った卒業式であったと思います。在校生の児童が26名の歌声がとても美しくまとまっていて、心のこもった卒業の歌が体育館に響いていたのが印象的でした。以上です。</p>
<p>池田委員</p>	<p>私は環小学校の最後の卒業式に出席をさせていただきました。</p> <p>卒業生8名で、一人ひとりが卒業証書を受け取る時に、中学校に行ったらこういうことをしたいという抱負をしっかりと述べていました。</p> <p>勉強を頑張りたい、部活を頑張りたい、そしてお父さんやお母さんへの感謝の言葉を述べた子もいて、しっかりとした口調で、とても感動しました。</p> <p>在校生も本当に落ち着いた態度で式に望んでおり、呼びかけや合唱の時などは、必死に涙をこらえる姿が印象的で、本当に家族的な雰囲気が溢れる卒業式でした。</p> <p>地域の方や来賓の方も多くお見えになりまして、最後の卒業式として歴史を締めくくるにふさわしい卒業式であったと思います。以上です。</p>
<p>山下教育長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>各所から卒業式の様子を伺っていますが、どの学校も、それぞれの学校らしい卒業式ができていたと思いますので、校長をはじめ教職員一同、地域の方に感謝する次第でございます。</p> <p>最後に3月市議会の報告をします。教育関係の議案としては、令和7年度一般会計補正予算、学校給食費の管理に関する条例の一部改正、令</p>

<p>樋口課長</p>	<p>和8年度一般会計予算、富津市教育委員会委員の任命などが審議され、いずれも原案通り可決承認されました。</p> <p>一般質問では、資料に記載のとおり学校給食費無償化について、学校の再配置について、学力向上について、キャリア教育の推進について等の質問が出されました。</p> <p>以上で教育長報告を終わります。御質問、御意見はございますか。</p> <p>それでは、各課報告をお願いします。</p> <p>始めに、教育総務課からお願いします。</p> <p>はい。教育総務課から報告します。</p> <p>3ページをお開きください。</p> <p>3月19日、企業版ふるさと納税寄附贈呈式が301会議室で行われました。</p>
<p>山下教育長 細谷参事</p>	<p>株式会社大倉様から、大佐和中学校屋内運動場改築事業に寄附をいただきましたので、同事業に活用させていただきます。以上でございます。</p> <p>続いて学校教育課、お願いします。</p> <p>はい。学校教育課から報告いたします。</p> <p>3月6日に市内全中学校、3月13日に市内全小学校で卒業式が行われました。</p> <p>先ほど教育長や教育委員の皆様からの感想にもありましたように、卒業生、在校生ともに厳粛な雰囲気の中、心のこもった素晴らしい式であったとの報告を受けており、今年度は小学校258名、中学校は274名が卒業となりました。</p> <p>3月24日、市内全小中学校にて令和7年度修了式を行いました。</p> <p>卒業生を除く児童1,103名、生徒508名が現学年の修了を認定されました。</p> <p>同じく24日、大貫小学校、佐貫小学校それぞれの学校で、学校再配置にともなう閉校式が行われ、大貫小では修了式の後、市教育委員会主催の校旗返納式を行い、校長から教育委員会に校旗が手渡されました。</p> <p>佐貫小では、閉校記念事業実行委員会主催により、校舎全体を使用して「謎解きクイズラリー」、体育館では音楽と落語が披露されるなど、閉校記念式典で多くのイベントが実施され、多くの地域の方々や卒業生が楽しみながら、佐貫小学校との最後の思い出を作っている様子が見ら</p>

	<p>れました。</p> <p>また、閉校式の中で校旗の返納も行われ、校長から教育委員会へと校旗が手渡されました。</p> <p>なお、環小につきましては、3月28日に閉校記念式典を予定しており、校旗返納も併せて行う予定です。</p> <p>以上で学校教育課の報告を終わります。</p>
山下教育長	<p>はい。ありがとうございました。</p>
川島所長	<p>続いて教育センター、お願いします。</p> <p>はい。教育センターから報告いたします。</p>
	<p>3月9日、401会議室にて、ALT派遣事業者選定のプロポーザルを実施しました。令和6、7年度の事業者である「ボーダーリンク」から変わり、令和8年度は、「ハートコーポレイション」に決まりました。令和5年度以前にも派遣契約をしていた事業者になります。</p> <p>3月19日、504会議室にて、小学校英語指導者会議を行いました。</p> <p>今年度の成果と課題について、2月に実施した県の学力検査などをもとに話し合いました。学校数が減少することから、英語指導員の配置も変わりますので、それらも踏まえて小中連携を見据えた指導について、次年度に向けての確認を行いました。</p> <p>3月23日、504会議室にて自立支援指導員会議を開催しました。</p> <p>本市の不登校の現状を共有した上で、来年度は、青堀小、富津中学校の不登校支援を重点的に行うための自立支援指導員の配置になっていることを周知しました。</p> <p>また、市の教育支援センターである中央公民館で開催している「さわやか教室」の相談員にも参加していただき、支援の現状を共有し、不登校支援に関わる、様々な機関、様々な職種の方たちが、学校を中心としながら連携していくことの重要性を再確認し、今後の対策について意見交換を行いました。以上でございます。</p>
山下教育長	<p>はい。ありがとうございました。</p>
篠田課長	<p>続いて生涯学習課、お願いします。</p> <p>はい。生涯学習課から報告いたします。</p> <p>2月24日、スポーツ・レクリエーション推進員 連絡協議会 役員会議が502会議室で行われました。</p>

今年度の事業報告にて、全ての行事が無事に開催された旨の報告がありました。

また、令和8年度の事業計画（案）について承認されました。

3月3日、富津市スポーツ推進委員 連絡協議会 役員会議が504会議室で行われました。

今年度の事業報告及び事業収支決算、令和8年度事業計画（案）及び事業収支予算(案)について4月14日の総会前の役員承認がされました。

3月6日、第2回富津市文化財審議会が、504会議室で行われました。

本市の重要な文化財である、有形文化財 三柱神社所有 観音菩薩遊戯坐像他3件の彫刻指定候補物件について、内容や特徴などについての確認が行われ、指定に値するとの見解が示されました。

3月7日、令和7年度 富津市スポーツ協会 体育・スポーツ功労者 表彰式が、中央公民館で行われました。

スポーツ協会主催等の大会において、優秀な成績を収め、市のスポーツ振興に貢献した、小中高校生及び成人40名、6団体の表彰が行われました。

3月20日、22日の2日間で、第38回富津市少年野球春季大会及び第47回スポーツ小年団交流富津市大会が、市民ふれあい公園球技広場で行われました。

4チームの参加があり、大佐和BCが優勝しました。

3月23日、第2回内裏塚古墳群保存活用計画策定委員会が、502会議室で行われました。

計画策定の目的や古墳群周辺の環境・概要について活発に論議され、古墳時代の河道の定説としていた記述については、近年の発掘調査の結果を反映する修正等、貴重な意見をいただきました。次回は、古墳群と各古墳の本質的価値を審議する予定です。

生涯学習課の報告は以上です。

はい。ありがとうございました。

続いて公民館、お願いします。

はい。公民館から報告いたします。

2月23日、第2回ふつつ検定を中央公民館で開催しました。

当日の受験者及び合格者を申し上げます。

山下教育長

長谷川館長

<p>山下教育長</p>	<p>初級の受験者29人、合格者は28人（合格率96.6%） 中級の受験者26人、合格者は23人（合格率88.5%） 上級の受験者25人、合格者は25人（合格率100%）でありました。 なお、市内の受験者が約7割、市外からは約3割の方が受験されています。</p> <p>アンケートでは、「検定の学習を通じて富津市のことが好きになった」という声が多く寄せられました。</p> <p>このほか、一般検定とは別に、今年度の新たな取組として、小中学生への受験機会の拡充を目的に「出張検定」を実施しております。</p> <p>今年度は、富津小、飯野小、大貫小、天羽小の5校で初級検定を実施し、計264人が受験し、合格者246人となっております。</p> <p>来年度も引き続き、一般検定と出張検定を実施してまいります。</p> <p>以上でございます。</p> <p>はい。ありがとうございました。</p> <p>各課報告の中で御質問・御意見はございますか。</p> <p>無いようですので、付議事項に入ります。</p> <p>議案第1号「令和8年度富津市学校教育の指針を定めることについて」、説明をお願いします。</p>
<p>川島所長</p>	<p>はい。議案第1号について、御説明いたします。</p> <p>5ページをご覧ください。</p> <p>本年度、総合教育会議でお示した本市の課題や、そこでいただいた御意見等を可能な限り反映させるため、本指針について変更した点が多くあり、少し長めの説明になりますが、よろしくをお願いします。</p> <p>変更の方針としては3点ございます。</p> <p>1点目は、冒頭の1ページで、本年度の重点事項をメッセージとして伝わりやすくしたこと。</p> <p>2点目は、市として推進していきたいことをできる限り具体的に示したこと。</p> <p>3点目は、重点的な取組が焦点化されるように、できる限り言葉や項目を削ったことです。</p> <p>6ページ以降の大きな3つの柱は変更していませんが、波線を引いた部分は、令和8年度から加えている部分です。</p>

それでは内容について、5 ページに示したように「令和 8 年度の重点」を「授業」と「あいさつ」として、「授業でカエル、あいさつでつながる、富津の教育」としました。

授業でカエルは今年度同様、最重要の取組であり、継続して深めていき、授業でカエルという思いを形に変えていきたいと考えています。

また、「あいさつでつながる」は、来年度新たに加える事項になりますが、これについては総合教育会議でお伝えしたとおり、「あいさつ」はコミュニケーションの第一歩であり、人と人の気持ちを温かくつなぐものです。そして、子どもたちの社会性の育成に「あいさつ」は欠かすことができません。

あいさつを交わすことで、学級、学校の雰囲気は心地良いものとなります。それが地域に広がれば、富津市全体の活性化を図ることができると考え、子どもたちの「あいさつ」で「あったかふつつ」の体現に寄与します。

以上のように、「授業でカエル」と「あいさつでつながる」の思いを、富津市全体の教職員で共有し、各学校が主体的に工夫しながら取り組んでいけるようにしていきたいと考えています。

次に、6 ページ目以降に追加した箇所を中心に御説明いたします。

知・徳・体でいうところの 1 が徳と体、2 が知、3 がそれらを支える基盤という関係となっています。

1 の心豊かでたくましい児童・生徒の育成では、(1) にあいさつからはじまる豊かな心を育む教育の推進を掲げました。あいさつの輪を学級・学校・地域に広げる取組を各校において推進し、社会性の育成につながっていきたいです。すでに各校で取り組んでいることを、より意識的に、計画的に深めてもらいたいと思います。

(2) の「富津の未来に関心を持てる児童・生徒の育成」については、1 つ目の○、校外学習等の体験的な学習に加え、今年度同様、ふつつ検定などを効果的に活用し、子どもたちの学び、さらには教職員の学びを深めていきます。また、3 つ目の○、7 月に実施予定の「子ども議会」と結びつけて、社会参画の意識を醸成していけるように努めます。次に、(3) の 2 つ目の○ですが、富津市は成人も含め、肥満やう歯（虫歯）が多いことから、基本的な生活習慣の確立と食育の充実に「肥満予

防」・「フッ化物洗口によるう歯予防」を加えました。

続いて2の確かな学力を身につけた児童生徒の育成です。

ここは、重点取組の「授業でカエル」の中心部分となります。これまで、(1)で思考力・判断力・表現力の育成(2)で基礎的な知識技能の習得という構成でしたが、「授業」ということに焦点を当てて、(1)として授業改善の推進(授業でカエル)とまとめました。

上から2つ目の○は、どんな授業を目指すのかという、これだけは欠かせないというベースとしての2点を挙げました。

1点目は、授業づくりのスタートともいえる「身につけさせたい力」「具体として引き出したい子どもの姿、言葉」といった目標と達成のための指導の手法を明確にします。

2点目の○は、教師がしゃべりすぎず、子どもの学習活動量が確保された授業のことです。そのためには、丁寧な授業準備による精選された指示・発問が必要です。

3つめの○は、上二つの○で書いた授業を展開するために、手法として授業改善サイクルを確立することをあげています。富津版授業チェックリストと書いているのは、教育委員会から校長会に依頼し、作成中のものになります。こういったものを活用しながら、指導者自身の『授業準備』と『振り返り』を日常化し、その質の向上させていく取組を推進していこうと考えています。

続いて、(2)多様な課題に対応した教育活動の推進です。

一つ目の○、読む力、書く力はすべての学習の基盤となる言語能力です。質は大切ですが、まずは、量をこなすことが重要で、そのための手段の例として、音読や視写を入れました。

下から二つ目の○はデジタル社会に適切に関わる力の育成です。これからの社会で子どもたちが賢く、たくましく生き抜いていくためには欠かせません。これまでも周知してきたタブレット端末で活用できる「ネットモラル」というアプリを使いながら、推進していきたいと考えています。計画的に必要な事項を学べるように、学年に応じた年間計画例を示しています。

次に、(3)特別支援教育の充実の一つ目に、総合教育会議でも御意見をいただきました、特別支援学級の授業の充実を記載しました。通常

	<p>の学級はもとより、特別支援学級も含め、授業改善に取り組んでいくということを示しています。</p> <p>最後に、3の児童生徒の成長を支える教育力の高い学校づくりでは、</p> <p>(2) 安全・安心な学校づくりの推進に、不登校支援やいじめ対応の組織体制づくりの推進を入れました。</p> <p>(3) 地域とともにある学校づくりの推進では、○の1つめに、改めて「あいさつ」について記載しました。学校だけで無く、家庭、地域も巻き込みながら、進めていきたいと考えているからで、あいさつの輪を広げることによる地域のつながりの促進としました。また、○2つ目では、学校の課題解決のためのコミュニティスクールの積極的活用を記載しました。</p> <p>令和8年度富津市学校教育の指針案については、以上となります。</p>
山下教育長	<p>はい。ありがとうございました。</p> <p>議案第1号について、御質問はございますか。</p>
嶋野委員	<p>5ページの授業でカエルのところで、学力向上、体力向上、生徒指導、学級経営、授業理解を授業でカエルというイメージは何となくわかりますが、不登校支援については、不登校の多くの子は授業を受けないわけですから、授業の中では変えられないと思ってしまうのですが、これはオンライン学習での授業や、時間短縮登校をさせて指導教室での授業を提供して、その授業を通して児童生徒を変えていく、支援をしていくというイメージでよろしいのでしょうか。</p>
川島所長	<p>今現在不登校になっている児童生徒はもちろん支援対象に含まれるのですが、一番のメインとしては、不登校を未然に防ぐという意味合いです。事業がわからない、勉強がわからないということが不登校の原因としての大きな要因となっていますし、生徒指導の機能を活かした授業というところで、子どもの自己肯定感であるとか、認められるというようなことを含めて、不登校に対する支援、未然防止に繋がっていくというイメージで捉えています。</p>
山下教育長 池田委員	<p>他にございますか。</p> <p>「授業」と「挨拶」というポイントを絞り込んでいて、非常に明確でわかりやすい指針であるというのが第1印象で、素晴らしいと思いますので是非具現化をしていただきたいと思います。</p>

	<p>蛇足ですけれども、総合教育会議でも発言をさせていただいたのですが、この「授業でカエル」という部分については、やっぱり先生方の授業力をどのように向上させるかということに繋がると思うのですが、そのことと、働き方改革はリンクして、相互に関連付けて取り組むべきことだろうと思います。働き方改革における労働時間の削減はあくまで手段であって、働き改革の目的はいわゆる先生方の心身の健康、ウェルビーイングですね。労働環境を改善することで、本来の目的である教育力を高めるというのが働き改革の目的であろうと思いますので、手段と目的を履き違えないで教育力の向上に取り組むということを学校側も先生一人ひとりが意識していただくことが大事であると思います。</p>
<p>山下教育長 藤平委員</p>	<p>ありがとうございます。他にございますか。</p> <p>私も今年度の重点目標がとてもわかりやすく、子どもたちにもわかりやすく、先生方にもわかりやすい内容だなと思いました。</p>
	<p>質問は6ページの(2)番で、ふつつ検定等を活かした～という部分、等が入っているので、他には具体的にどのようなものが含まれるのかというのが1点、それから3の文化産業などに関する学習や研修とありますが、学習部分は子どもたちで、研修部分は職員に対するものとして、対象を分けて捉えるか、それとも子どもたちではなく、教師が学習し、研修する意味での充実なのか、そこの部分を教えてください。</p>
<p>川島所長</p>	<p>等については、鋸山の教室や内裏塚古墳群の出前講座などの各種講座、新富地区の工場見学ができるように、どういう工場が子どもの見学を受け入れているかなどの発信など様々含んでおります。</p> <p>学習と研修については、前段の学習部分は子どもの学習ですが、その学習を進める上で、やはり我々教員が学んでいなければ教えられないというところで、研修を入れましたので、後半の研修部分は教職員に向けたものです。</p>
<p>藤平委員</p>	<p>学習と研修の区別わかりましたけれども、教師が研修をして、子どもたちに教えていくには、カリキュラムの構成がなければ、突飛的に取り入れていくものではないと思うので、カリキュラムの確立みたいところを現場に下ろすときに意識させていただくと効果的だと感じました。</p>
<p>山下教育長</p>	<p>ありがとうございます。</p>

<p>川島所長</p>	<p>研修については、ふつつの教員であってもふつつのことをあまり知らない教員が結構いるのではないかということから始まっています、ふつつに住んでいる人でも知らないこともあるので、まずは夏期講座などでしっかりと理解して勉強していくことが大事だろうということから始まっています。そしてその発展として、総合学習や社会課の中で教育課程に入れ込んでいくというところをやっていかなければならないと考えています。</p> <p>その他にも改訂版の社会科副読本が完成しまして、その中には以前に皆様にもお見せしたような動画が含まれています。動画を使いながら子どもたちが富津の魅力とかに気づいていけるような形にしていきたいと思います。</p> <p>なお、副読本は3年生に配られるものですが、それ以外の学年でも見られるようにホームページに掲載しておりますので、市民の皆様にも見ていただけるような環境を整えていきます。</p>
<p>今関教育長職務代理者</p>	<p>先ほど嶋野委員も仰っていましたが、私も一読したときに引っかかるのが不登校支援を授業で行いますというところでした。</p> <p>それ以外はとても読みやすく、簡潔にまとめられていると思ったので素晴らしいと思っています。</p> <p>深く読んでいけば理解できることではあるのですが、指針として出した時に疑問に思ってしまう部分がここだと感じました。</p> <p>あともう一つ、特別支援教育の充実と書かれていて、とても大事なことだなと思うのですが、他の二つの授業改善の推進、多様な課題に対応した教育活動の推進に比べると内容が薄く、特別支援学級の充実、授業の充実を図るといっては具体性がなくて、言い方は悪いのですが、とってつけたような形になってしまうというのが正直な感想です。これをどうして欲しいというものではありませんが、感じたこととしてお伝えします。</p>
<p>山下教育長</p>	<p>特別支援学級の授業の充実を掲げたときに、クラスによって実態が本当に違うので、通常学級だとある程度こういう手立てによって対応できるという統一的なものが少なく、全くないわけではないのだろうと思いますけど、どのような部分は外せないとか、共通している部分はここだということが難しく、特に市内でも支援学級は増えていますので、</p>

<p>藤平委員</p>	<p>意見を出し合いながら充実させていきたいなと思います。</p> <p>特別支援の事業を充実させていただきたいとお願いしたところ、取り入れていただきありがとうございました。</p> <p>今、教育長のお話にもあった通り、様々な実態の中で、でも支援学級こそ個を生かすことに対しての対応が大切であるという観点で、授業を充電させていただきたいという思いです。</p> <p>続いて、6ページの体力と健康のところ、市内の児童生徒の実態として、肥満傾向のお子さんが多い。それからフッ化物洗口をやることによって、虫歯の罹患率を減らすということが健康作りということで挙げられていると思うのですが、近年の傾向としては、虫歯のお子さんよりも歯並びなど口腔環境の方が問題で、市の集団健診のときにそういう部分で引っかかり、歯科医に繋げるようなお子さんが多くなっている傾向があるというようなことを聞きまして、健康作りの中にフッ化物洗口等とあるので、この等の中には口腔環境の観点からの対応も含まれているのか確認させてください。</p>
<p>細谷参事</p>	<p>フッ化物洗口等につきましては、健康教育というところで、フッ化物を取り入れることによる虫歯予防の観点から挙げています。</p> <p>ご指摘の歯並びや口腔環境の状況つきましても、あまり状況は良くないところではありますが、今回はフッ化物洗口というところを重点的に行うということで挙げさせていただきました。</p>
<p>山下教育長</p>	<p>他によろしいでしょうか。</p> <p>授業で子どもたちを変えていきたいなと思いますし、あっちこっちで元気な挨拶が展開できるような、そんな姿をイメージして来年度取り組んでいきたいなと思いますのでよろしく願いいたします。</p> <p>それでは議案第1号について承認される方挙手をお願いいたします。挙手全員ですので、議案第1号は承認されました。</p> <p>続いて、議案第2号「富津市スポーツ・レクリエーション推進員の委嘱について」説明をお願いします。</p>
<p>篠田課長</p>	<p>はい。議案第2号について、御説明いたします。</p> <p>8ページをご覧ください。</p> <p>本議案は、富津市スポーツ・レクリエーション推進員の任期が令和8年3月31日をもって満了となることに伴い、富津市スポーツ・レクリエ</p>

<p>山下教育長</p>	<p>ーション推進員に関する規則第4条の規定により、記載の16名を令和8年4月1日付けで委嘱したく、議決を求めるものでございます。</p> <p>任期は、令和8年4月1日から令和10年3月31日までの2年間で、令和7年度中に活動していた20名のうち、再任の推進員が16名であり、退任する4名の後任につきましては、決定次第、委嘱の手続きを進めてまいります。ご審議のほど、よろしくお願い申し上げます。以上でございます。</p> <p>はい。ありがとうございました。</p> <p>議案第2号について、御質問はございますか。</p> <p>無いようですので、議案第2号について承認される方は、挙手をお願いします。</p> <p>挙手全員ですので、議案第2号は承認されました。</p> <p>続いて、議案第3号「富津市文化財審議会委員の委嘱について」説明をお願いします。</p>
<p>篠田課長</p>	<p>はい。議案第3号について、御説明いたします。</p> <p>9ページをお開きください。</p> <p>本議案は、富津市文化財審議会委員として、記載の8名を委嘱したく、議決を求めるものであります。</p> <p>提案理由は、富津市文化財審議会委員の任期が令和8年3月31日をもって満了となることに伴い、富津市文化財の保護に関する条例第25条の規定により、令和8年4月1日付けで委嘱しようとするものであります。</p> <p>なお、任期は、令和8年4月1日から令和10年3月31日までであり、8名すべての方が再任であります。ご審議のほど、よろしくお願い申し上げます。以上でございます。</p>
<p>山下教育長</p>	<p>はい。ありがとうございました。</p> <p>議案第3号について、御質問はございますか。</p> <p>(なければ) 無いようですので、議案第3号について承認される方は、挙手をお願いします。</p> <p>挙手全員ですので、議案第3号は承認されました。</p> <p>続いて、議案第4号「富津市文化財第12次指定について」説明をお願いします。</p>

<p>篠田課長</p>	<p>はい。議案第4号について、御説明いたします。</p> <p>10 ページをご覧ください。</p> <p>提案理由は、富津市教育委員会が令和8年1月30日付けで富津市文化財審議会へ諮問したことについて、調査を経た結果、指定を可とする旨の答申がありましたので、新たに指定しようとするものであります。</p> <p><small>かんのんぼさつ ゆ げ さぞう いったい</small></p> <p>1 つ目は、観音菩薩遊戯坐像 一軀、所有者は、富津市竹岡 4452、宗教法人三柱神社、区分 有形文化財 彫刻であります。</p> <p><small>じゅうにしんしょうりゅうぞう じゅうにたい</small></p> <p>2 つ目は、十二神将立像 十二軀、所有者は、富津市湊 220、宗教法人東明寺、区分 有形文化財 彫刻であります。</p> <p><small>じぞうぼさつりゅうぞう いったい</small></p> <p>3 つ目は、地藏菩薩立像 一軀、所有者は、富津市湊 220、宗教法人東明寺区分 有形文化財 彫刻であります。</p> <p><small>によらいぎょうりゅうぞう いったい</small></p> <p>4 つ目は、如来形立像 一軀、所有者は、富津市湊 220、宗教法人東明寺区分 有形文化財 彫刻であります。</p> <p>指定基準については、いずれも本市域の仏像彫刻として、また中世の歴史的資料として貴重なものと捉えられます。物件の調査票等は、別添資料をご覧ください。以上でございます。</p>
<p>山下教育長</p>	<p>はい。ありがとうございました。</p> <p>議案第4号について、御質問はございますか。</p> <p>無いようですので、議案第4号について承認される方は、挙手をお願いします。</p> <p>挙手全員ですので、議案第4号は承認されました。</p> <p>次に報告事項に入ります。</p> <p>報告第1号「富津市教育委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて」説明をお願いします。</p>
<p>樋口課長</p>	<p>はい。報告第1号について御説明します。</p> <p>12 ページをお開きください。</p> <p>富津市教育委員会委員 池田亨氏の任期が令和8年3月31日をもって満了となることに伴い、後任委員として、岩沢宏幸氏を任命すること</p>

<p>山下教育長</p>	<p>について、令和8年3月市議会定例会において同意されましたので、ご報告いたします。以上でございます。</p> <p>はい。ありがとうございました。</p> <p>報告第1号について、御質問はございますか。</p> <p>無いようですので、次に報告第2号「富津市教育委員会事務局職員等の人事異動の報告について」、説明をお願いします。</p>
<p>樋口課長</p>	<p>はい。報告第2号について、13 ページからの教育部事務局職員について御説明いたします。</p> <p>15 ページ、16 ページをご覧ください。令和8年4月1日付、教育部から他部署への転出者は7名、退職者2名、他部署からの転入者は8名、新規採用者は1名おります。こちらの表に名前の記載はありませんが、学校教育課2名が富津市教育委員会を退職され、学校へ移られます。そして2名が新たに富津市教育委員会へ入られます。</p> <p>事務局職員については以上でございます。市内小中学校教職員の人事異動については、細谷参事からご説明いたします。</p>
<p>細谷参事</p>	<p>私からは、報告第2号のうち教職員の令和7年度末の人事異動について御説明します。</p> <p>14 ページ「教職員人事異動名簿」をご覧ください。</p> <p>富津市立の小中学校において、本年度末の退職者は4名です。内訳として、定年前退職者2名、勸奨による退職者1名、若年退職者と標記されておりますが、東京都への採用のための若年退職1名です。</p> <p>転出職員は52名。そのうち26名が市内の学校間異動です。市行政への異動が2名、県行政が2名、県立特別支援学校が1名となっております。</p> <p>新規採用者は10名です。</p> <p>転入職員は42名で、うち富津市外からの転入職員は12名、県行政から1名、市行政から3名が転入します。</p> <p>新任管理職は校長が2名です。</p> <p>なお、昨年度より、転出入の数が大きく増えております。これは、佐貫小、環小の再配置にともなう教職員の異動が大きく影響しております。以上で報告を終わります。</p>
<p>山下教育長</p>	<p>はい。ありがとうございました。</p>

<p>大畑主幹</p>	<p>報告第2号について、御質問はございますか。</p> <p>無いようですので、次に報告第3号「富津市教職員の働き方改革ガイドラインの改定について」説明をお願いします。</p> <p>はい。報告第3号について御説明します。</p> <p>22ページをご覧ください。</p> <p>令和7年3月に、本市の働き方改革ガイドラインを改定しました。</p> <p>その後、令和7年6月に、「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」が改正されたことに伴い、市教育委員会は、「業務量管理・健康確保措置実施計画」の策定、公表、実行が求められることから、「働き方改革ガイドライン」を改定することとしました。</p> <p>現行の働き方改革ガイドラインは君津地方4市教育委員会共同で策定した経緯を踏まえ、今回の改定についても同様に、4市共同で改定作業を進め、令和8年3月改定することとしました。</p> <p>今後、各学校でこのガイドラインに沿って勤務し、子どもたちと向き合う時間がしっかりと確保されるよう、周知してまいります。以上でございます。</p>
<p>山下教育長</p>	<p>はい。ありがとうございました。</p> <p>報告第3号について、御質問はございますか。</p>
<p>嶋野委員</p>	<p>27ページ上段、具体的目標2番目、月の平均時間外在校等時間を30時間程度とありますが、これを報酬だけで見ると、今の教職調整費が月給の4%で、これから段階的に引き上げて2013年に10%まで上がるということですが、実際10%になっても、例えば30万円の給料の人は手当が3万円、教員の残業の範囲というのは判断が難しいことはわかりますが、時間外30時間では時給にして1,000円、30時間を超えてしまえば1,000円以下、さらに現在の現状はひどいもので、4%で50時間の時間外と考えますと、時給は240円です。</p> <p>現在と比べると上がるということにはなりますが、民間業者の残業代を時給1,500円程度と考えた場合でも、調整額3万円に対しては20時間以下で時給1,500円となりますので、今後、教員になりたいという人材を増やしていくためには、ブラックであると思われぬように、私はこの目標を20時間程度にすべきだと思います。</p> <p>そこで、30時間程度と定めたその根拠と、目標である以上は曖昧な</p>

<p>大畑主幹</p>	<p>30 時間程度という表現ではなく、30 時間以下とするよう明確に定めた方がよいと思いますが、その点についてもいかがでしょうか。</p> <p>30 時間程度の根拠については、県の方から示されているモデルプランと同列としたところ です。委員のご指摘の通り、目標に関しては、程度ではなく以下ということ で取り組んでいかなければなら ないと考えます。</p>
<p>山下教育長</p>	<p>現状は実績がそこまで追いついていないということで、45 時間以下を一つの目標としてい ましたが、国の方では教育調整費を 10%にするためには時間外勤務の一定の削減が必要である との見解もあります。</p> <p>人的措置など条件整備が進まない と厳しい部分もありますが、なんとか 30 時間以下を達成できるよう、 取り組んでいきたいと思 います。</p> <p>他にございますか。</p>
<p>嶋野委員</p>	<p>似たような話になりますが、私の考えでは、例えば 30 ページの 4 市の各学校への具体的な取組例の中で行事精選とあり、夏休みの作品募集の大幅カット、運動会 は半日開催に短縮、マラソン大会の廃止、陸上大会の朝練習の廃止、後は児童生徒の家庭での様子や環境を知る上で非常に大切な行事である家庭訪問の実施形態の変更などがあります。家庭訪問以外は、子どもたちの学びの機会、成長するのに必要な貴重な経験をする時間が削られているような気が します。</p> <p>教職員の働き方改革によって子どもたちが犠牲になってはいけ ないと思いますので、働き改革を進めていく上でも、児童生徒の教育ファーストということ を考えながら、上手く進めていってほしいと願っております。そのために、仕事を多くの教員で分担できるよう、人材を増員するための予算、つまりお金をかけるしかないのかなというのが私の本音です。</p>
<p>山下教育長</p>	<p>ここに書いてあることを全ての学校でやっているわけではないので、学校によっては例えばマラソン大会を廃止したり、一方で運動会 は 1 日やっているところもあつたり、各学校の実態に応じてどうするのが良いのか、実践例ということで記載はしておりますが、それぞれ実態に合った形での業務改善に取り組んでいるところであると思っております。他に ございますか。</p>
<p>藤平委員</p>	<p>28 ページ、教師以外が積極的に参画すべき業務の中の⑧にある校内</p>

	<p>清掃ですが、校内清掃の取組の二つ目に、清掃指導や見守りの保護者、地域住民の参画を推進とありますけれども、この清掃指導や見守りってというのは、登下校の見守りのことではなく、校内清掃だから掃除の見守りということですよ。清掃の見守りに保護者や地域住民の参加を推進していくということを富津市の方針として捉えてよろしいのでしょうか。</p>
<p>大畑主幹</p>	<p>これは従前から取り組んでいるボランティアの活用というところで、清掃にも保護者や地域の方に呼び掛けて、ともに行っていただくことで地域の人材活用や子どもたちの地域の方に対する感謝の気持ちを育むことができれば良いなということで記載しております。それが、ひいては教職員の働き方改革にも繋がっていくのではないかと考えております。</p>
<p>藤平委員</p>	<p>それは日常の校内清掃ではなく、例えば運動会前の除草作業などのことですか。</p>
<p>大畑主幹</p>	<p>それも含まれますが、段階的に、毎日とは言いませんが、適宜保護者の方や地域の方に参加していただくような校内清掃に取り組めれば良いと考えています。</p>
<p>細谷参事</p>	<p>補足ですが、子どもが少なくなり、なかなか普段の清掃が行き届かない部分が出てきているというところがありますので、その中で保護者や地域の方のお力をお借りするということ、日常的にやっていくのか、またはスポット的に行事などでやっていくのか、コミュニティスクール等の中で協議していきたいと考えています。</p>
<p>藤平委員</p>	<p>学校によって実態や状況が異なるので、学校としてやりやすい形で、教職員の負担軽減にも繋がるよう進めていきたいと考えております。</p>
<p>藤平委員</p>	<p>ちょっとイメージができなかったので質問しました。</p> <p>非難するわけではなのですが、清掃指導は立派な生徒指導であって、子どもと教員が一緒になって作業したり、子どもの気づき、動きを見ながら子どもを理解したりっていうのがとても大事な視点だと思うので、そこは残しておいていただけるような内容の工夫をしていただきたいと思います。</p>
<p>嶋野委員</p>	<p>自分の経験で、PTAの役員や地元の青年団などで、学校に対する奉仕作業は結構あって、草刈りでも大きな伐採でも、基本は土日です。そう</p>

<p>山下教育長</p>	<p>すると、自分たちが奉仕しているのに、学校の先生はこないのかと、地元の方はやっぱりそういうことを言うわけです。なので、今後そういった問題を上手く解決して進めていかないといろいろ問題も出てくるのではないかと思います。</p> <p>一つ一つ見ていくと、本当に記載の通りに出来るのかというようなことがたくさんあって、例えば採点事務にしても、スクールサポーターにやってもらおうと書いてありますが、採点することによって子どもがどこでつまづいているのか分かって、それが指導に繋がるという考え方もあるわけですが、ガイドラインにあるような視点を持ってやっていかないと働き方改革はなかなか進まないということもありますので、各学校の実態と合わせて、取り入れていけるものは取り入れて進めていくしかないと思っております。</p>
<p>藤平委員</p>	<p>例えば登下校の見守り、地域で保護者などボランティアにというのは良いのですが、負担は10か0ではないと思うんです。10ではなく、地域や保護者の方に9はお願いするけど1は、例えば学期の中で何回かは教頭先生などが「ご苦労様です」と、子どもたちには「おはよう、こんなところを通って通学してるんだね」といった実態を見る機会を持ちながら、学校の業務に支障がないように働き方改革も大事にしながら、その割合的な部分を9:1でも8:2でもいいから何か残しておいていただきたい、そういう意識を持っていただけたらと思います。</p>
<p>山下教育長</p>	<p>他にいかがでしょうか。</p> <p>それでは、次に報告第4号「令和7年度富津市通学路安全対策協議会「通学路の安全確保」について」説明をお願いします。</p>
<p>川島所長</p>	<p>はい。報告第4号について御説明します。</p> <p>35ページをご覧ください。</p> <p>10月に行われた令和7年度富津市通学路安全対策協議会について、令和8年2月末現在の対策状況について御報告いたします。</p> <p>協議会で挙げられた箇所につきまして、道路管理者・警察・学校がそれぞれ対策を進めております。2月末現在、全38件中、当該年度中に対応が25件、次年度に持ち越しての対応が8件、用地や道路の幅の問題から対応できないため学校での安全教育によって対応するものが5件でした。</p>

<p>山下教育長</p>	<p>現在、進行中の箇所もあり、今後も定期的に状況把握を行い、進捗状況を確認して行く予定です。以上です。</p> <p>はい。ありがとうございました。</p> <p>報告第4号について、御質問はございますか。</p> <p>無いようですので、次に報告第5号「専決事項の報告について」説明をお願いします。</p>
<p>樋口課長</p>	<p>はい。報告第5号について御説明します。</p> <p>39 ページを御覧ください。後援申請がありましたので、富津市教育委員会行政組織規則第9条第1項の規定により、40 ページに記載のとおり2件をそれぞれ承認しましたので、同条第2項の規定により報告するものです。</p> <p>個別の内容についての説明は割愛させていただきますので、ご了承ください。以上でございます。</p>
<p>山下教育長</p>	<p>報告第5号について、御質問はございますか。</p> <p>無いようですので、次にその他に入ります。</p> <p>委員の皆様から何かございますか。</p> <p>無いようですので、事務局から何かございますか。</p>
<p>篠田課長</p>	<p>鋸山日本遺産候補地域活用推進協議会にて、日本遺産認定のための申請書類を、3月9日に文化庁へ提出したことを御報告いたします。今後、日本遺産審査・評価委員会によってその内容が審査され、令和8年度中に結果が公表される予定です。以上です。</p>
<p>山下教育長 樋口課長</p>	<p>次に教育総務課、お願いします。</p> <p>はい。それでは、次回会議の日程でございますが、4月23日、木曜日、午前10時から401会議室にて予定しておりますので、よろしくお願い申し上げます。</p>
<p>山下教育長</p>	<p>はい。ありがとうございました。</p> <p>以上で教育委員会定例会を終了させていただきます。</p>